

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.1 窓口サービスの充実・事務改善

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	4	5	3	効率化も大切なことではあるが、高齢者の方への対応も検討していただきたい。
b委員	5	5	4	おくやみ窓口はとても高評価で受け入れられているようである。市民目線でうっかりしそうな手続を係の方から出向いてくれるというのはとても良いサービスである。
c委員	4	4	2	1日に最大4件とのことだが、そもそも死亡届を出される方が1日何人いるのかが分からないため、ワンストップ窓口の設置イコールおくやみ窓口で良いのかどうか。他にワンストップ窓口を設置した方が良い手続があるのではないかと。疑問に感じた。
d委員	5	5	3	おくやみ窓口は、その時になってすべき手続きをワンストップ窓口にて対応してもらえることは大変有難いものである。これからもより充実したものにブラッシュアップ願いたい。その上で、いずれ誰にも訪れるその時に備えていわゆる終活の一環として、市民に事前にどのような手続きが必要なのか周知することも必要ではないかと考える。
e委員	5	5	5	—
f委員	4	5	3	—
g委員	3	2	2	業務量に比べて人員（スタッフ）が適切なのかどうか。（いつも忙しいように見受けられる。） 電話交換の業務を職員が担っているとすれば検討すべきだと思う。 「窓口改革及び庶務業務の集約を実施している団体」の報告書を参考にしてほしい。
h委員	4	4	4	PDCAをしっかりと展開し、成果を上げていると考えられる。 横断的な組織体制によるワーキング会議の継続により、再評価及び計画見直しを行いつつ、市民目線に立った計画を実施していただきたい。
i委員	5	5	4	市民の声としては大変良いという評価が高い。 事務改善としては、待ち時間を減らす工夫や窓口表示の分かりやすい表示をお願いしたい。これからの課題として提案するが、結婚相談窓口設置の検討を合わせてお願いする。
j委員	3	3	3	「①窓口業務のあり方の検討」の進捗状況の説明がなく評価不可。 「②おくやみ窓口の設置」について、市民目線からすれば、令和3年度実施というのは、令和2年度準備が整い、令和3年度4月から本格実施するものと考えるので、令和3年度に施行運用期間があるのは残念。 予約1枠に所要時間が100分かかるため一日最大4枠の予約制限があること、また担当職員が次々交代で対応することによる市民の心理的負担についても改善策を検討することが必要と考える。
k委員	5	5	4	住所変更の際の手続きもワンストップで検討いただきたい。
l委員	4	5	4	サービスを拡充する分、不要なサービス等は削減されると良い。
m委員	5	4	4	おくやみ窓口がどこに設置されているのか、市民に周知されていないのでは。 窓口にも立っても気づいてくれない職員がいる。下を向いて仕事をされているため仕方がないのか。 市民目線の意見を聞く「目安箱」のようなものを置いてほしい。
平均値	4	4	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.2 市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	4	5	3	高齢者の方への対応はどうなっているのか。IT機器等をお持ちでない方の対応はどうなっているのか。対象を限定した上でのことなのか。一定数おられると思われるデジタル難民への対応に関して疑問が残った。
b委員	3	4	3	全ての市民がLINEを見ているわけではないので、「LINEに載せている」と言うのは不親切である。
c委員	3	3	3	アクセス数、フォロワー数の増は、新型コロナウイルスによる影響が大きく、取組の成果ではないのではないか。
d委員	4	5	3	SNS等による迅速な情報提供をいただいている。情報リテラシーが低いとされる高齢者等の方や視覚障がい等の方への対応が大切である。
e委員	4	5	5	—
f委員	5	5	3	新型コロナウイルスがワクチン等で沈静化すると思われる令和4年度以降、引き続き市民の関心を得るためにどうするか。特に高齢者はホームページもSNSも利用できないし、目が不自由な人は広報紙も読めない。
g委員	3	3	3	魅力ある情報提供であれば自ずとアクセス数・レスポンス数は増える。基本中の基本だと思う。
h委員	4	5	4	高齢世帯の増加に伴い、SNS活用が困難な層がある。多様な情報に接する機会が増えて、市に対する愛着形成にも一役かっていると考えられる。今後、さらなる情報発信に期待する。双方向性の共有ができるのであればボトムアップにつながる。
i委員	5	4	4	ホームページの改善では、市民の意見を十分に反映され市民ファーストの取り組みをお願いしたい。見やすく分かりやすいホームページにしてもらいたい。
J委員	4	4	4	行政と市民の相互情報の取り組みを念頭において広聴機会の充実も図っていただきたい。目標指数のホームページアクセス件数とSNSフォロワー数は分けて設定し、その分析が必要と考える。
k委員	4	5	3	—
l委員	3	3	4	ホームページは、調べものをするのに探しにくい。どこを見ればいいのか分かりにくいいため、改善してほしい。
m委員	4	4	3	スマートフォンを使えない人はどうするのか。情報が洩れることはないのか。
平均値	4	4	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.3 市民協働の推進

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	/	3	市民の意識を上げるというのは非常に難しいことではあると思うが、広く市民にやろうとしていることが伝わるよう、より一層の努力をお願いしたい。
b委員	2	/	2	私の所属する団体は、アンケート用紙が送付された団体ではないので残念である。受け皿を広く、市民活動の支援をしてほしい。
c委員	3	/	2	市民活動に関わる人が増えることを期待される効果として挙げているが、主な取組がアンケートのみとなっているため、妥当性を「2」とした。既存団体へのアンケートでは関わる人は増えないのではないかと。
d委員	3	/	3	アンケートの分析をしっかりと行い、課題を洗い出し、市民や事業者が活動しやすい環境づくりを願う。基本的には市民が「やりがい」「喜び」「存在感」「達成感」を得られるようにならないと進展しないのではないかと。
e委員	3	/	3	—
f委員	3	/	3	新型コロナウイルスの影響下では仕方がないと思うが、市民活動団体でのアンケートは回収率が悪すぎる。支援金を受領している団体は提出の義務化を。
g委員	3	/	3	府内各市との比較だけでなく、関西の同規模（人口規模）の市と比較すべきである。協働の推進方法について再検討してほしい。
h委員	3	/	3	令和2年下半期においてまちづくりフォーラムが中止となったことは残念であるが、市民活動団体へのアンケート調査を行い、支援金制度の課題を明らかにすることができる。この結果を市民活動団体で共有するのではなく、市民に広く還元してほしい。退職世代がまちづくりに貢献できるような支援体制（未参加者への啓発も含む）を推進してほしい。
i委員	3	/	4	市民活動推進センターの活動紹介をホームページに積極的に発信してほしい。コロナ禍で大変な状況ではあるが、まちづくりフォーラムの開催等、これからの事業を頑張ってほしい。
J委員	3	/	3	市民団体のニーズは支援金だけではないと考えるので、対象（市民）のニーズをくみ取った推進施策を検討いただきたい。 市民団体と一言に言っても、規模・運営などその形態はさまざまなので、希望される支援策も多様であることを意識することが必要と考える。
k委員	3	/	3	—
l委員	3	/	3	期待される効果が得られるかどうか。新規参入への機運を高める情報等の提供が分かりやすく発信されればと思う。
m委員	3	/	3	市民活動推進センターとの連携が不足しているように感じる。 市民活動団体の現状（課題）把握に努めてほしい。
平均値	3	/	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.4 公民連携によるまちづくり

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	/	3	—
b委員	3	/	3	—
c委員	3	/	4	—
d委員	3	/	5	SDGsを日本中が注目する時代となり、その先駆的取組を亀岡市が推進する中で、民間企業の協力や支援を受けることは大切であり、企業も社会貢献を企業の継続的発展の戦略として捉えていることから、これからも市民福祉の向上に繋がるものは積極的に情報収集のうえ、連携・協力を進めてもらいたい。
e委員	3	/	3	連携する企業等に支払う業務委託費を上回る経済効果、費用対効果を生み出すという発想を持って進めていただきたい。
f委員	4	/	4	日本郵便（株）との協定により、住民票等の発行を特定郵便局でもできるようにしてほしい。高齢者の地元の特定郵便局の利用頻度はコンビニよりはるかに多いと思う。
g委員	4	/	3	連携の効果をどのように把握するのか検討すべきである。
h委員	3	/	3	市内企業と連携し、高い頻度で専門的支援が受けられる体制が整備されている。プラスチックごみゼロへの取組は次世代への環境教育の第一歩となると考える。実質的なSDGsとして地産地消、量り売り推進など、市民のできる実践的取組に発展していくことを期待したい。
i委員	4	/	3	今後、東京都内、大阪関西圏内、京都府内の大手企業にも積極的に取り組みをされたい。
J委員	3	/	3	—
k委員	3	/	3	—
l委員	3	/	3	—
m委員	3	/	3	—
平均値	3	/	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.5 庁内連携システムの確立

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	/	3	—
b委員	3	/	2	子どもの貧困対策を進めるのに対策の進め方を今検討しているのでは、随分遅いなど実感する。
c委員	3	/	4	—
d委員	3	/	4	柔軟性のある組織、人材活用が可能になれば市民サービスも向上するだろうし、理想であると考え。そのことにより、職員のモチベーションやスキル向上に繋がることに期待する。
e委員	3	/	3	—
f委員	3	/	3	子どもの貧困対策プロジェクトチームは、民生児童委員との連携もあるのか。かなり有効だと思う。
g委員	3	/	3	庁内連携はどんどん進めてほしい。
h委員	3	/	3	様々な庁内連携システムを立ち上げて実現の第一歩を踏み出していることは評価できる。子どもの貧困対策や多文化共生社会の実現には、広く市民目線も取り入れた協働の視点が不可欠となる。退職世代にはまちづくりに貢献したい人材が埋もれているものと考え。市民が主体的に参加できるような繋がれる場、集える場づくりが地域の身近なところに不可欠である。
i委員	4	/	3	プロジェクトチームについては、活動状況をホームページに公開するべきだと思う。情報公開を積極的に改善されたい。議事録などあれば公開の検討をお願いしたい。
J委員	3	/	3	横断的な取り組みは評価できるが、職員の所属職場への影響や、一人の職員が複数のワーキンググループやプロジェクトチームに参画するなどの偏りにも留意されたい。
k委員	3	/	3	—
l委員	3	/	3	まだ始まったばかりなので、今後に期待している。
m委員	3	/	3	—
平均値	3	/	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.6 人材の育成、職員研修の充実【①人材の育成、職員研修の充実】

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	3	3	庁内でやっておられることであるので、外には分からない部分がある。市民に向かっての対応等に結果が現れないと自己満足になってしまうのではないかと。会計年度任用職員の方等に対しても研修を展開してほしい。
b委員	3	3	2	市民からの問い合わせの電話対応について、職員の研修はもっと丁寧にした方が良い。言葉遣いがなっていないと感じた。もし、会計年度任用職員等の職員で研修ができていないのなら、その方たちを含め研修すべきである。市民には区別はつかないので。
c委員	3	3	3	—
d委員	3	3	3	市民サービスの入口では、まずコミュニケーションが大切であるので、能力向上のための研修と職員増員が難しい中で、専門的スキルを身に付けることが求められている。人事異動もこのようなことを考慮し、適材適所に人材の配置を願う。
e委員	3	3	3	—
f委員	3	4	3	—
g委員	4	3	3	デジタル化に対応した職員をしっかりと育成してほしい。民間の社員教育のあり方を絶えず参考にすべきである。
h委員	3	3	3	市民に対する接遇の向上について課題が多いものと考えられる。やる気を高めつつ、人材育成の充実を図ってほしい。
i委員	5	4	3	面接にオンライン面接も検討されたい。新人職員についての研修で、今後、亀岡市内の民間企業との研修や交流の検討をお願いしたい。
j委員	3	3	3	研修内容の検証・見直しについては、各職場や市民意見を反映し、その課題解決に向けたものを実施いただきたい。研修は「実施した」のではなく、「身につく」ことを結果とし、市民サービスの向上につなげていただきたい。
k委員	3	4	3	—
l委員	3	3	3	研修を実施したということで、計画、目標を達成しているとなっているが、その研修内容がどうかという事で妥当性が判断されるのではないかと思う。期待効果はあったのかを実績に入れてもらえると分かりやすい。eラーニングはコロナ後も続けてもらいたい。
m委員	3	3	3	—
平均値	3	3	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.6 人材の育成、職員研修の充実 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	5	4	4	—
b委員	4	3	2	新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、予約の告知が不適切だと思う。
c委員	5	5	3	—
d委員	5	5	4	公立病院には厳しい経営状況であることから職員一人ひとりの能力向上と共に、市民に愛され信頼されることがより大切であるので、老若やその家族に寄り添う明るく優しい、安心できる市立病院であり続けてもらいたい。特にコロナ禍の中で、大変ご苦勞をされていることと思うが、市民の命、健康を守っていただくため、これからも努力願う。
e委員	5	5	5	—
f委員	5	5	4	令和2年度は、コロナ禍で病院関係は大変だった中、高評価されるべきである。ただ、令和3年度以降は数値目標を上方修正すべきではないか。
g委員	4	3	3	デジタル化に対応した職員をしっかりと育成してほしい。民間の社員教育のあり方を絶えず参考にすべきである。
h委員	5	5	5	—
i委員	5	4	3	—
J委員	5	5	5	新型コロナウイルス感染症関連で、より一層のリスク管理・危機管理が求められる中、現場に必要な研修が実施され活かされている。
k委員	3	5	3	—
l委員	5	5	3	—
m委員	4	4	3	—
平均値	5	4	4	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.7 人事評価制度の運用

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	3	3	—
b委員	3	3	2	職員の勤務評価について、上司がプレッシャーを与えているように感じる。責任を取らされるというプレッシャーが余計委縮させて実力を発揮できていないように思う。
c委員	3	3	4	—
d委員	3	3	3	明るく元気でコミュニケーション能力が高ければ市民満足度も上がると思う。その上で、地方公務員として亀岡市職員として常に市民の公僕として、今何を為すべきかを考え行動する職員集団となり、情熱を持ち、チャレンジ精神を発揮し続ける職員を育てていただきたい。そのための人事評価となるようマンネリ化、形骸化に陥ることにならぬよう、制度の成果と検証を行い、活力に満ちた組織として進化し続けてもらいたい。
e委員	3	3	3	—
f委員	4	3	3	外部からは一番分かりにくい点であり、内部でも難しい問題を含んでいると思う。ただ画一的な人の集まりにならないように、一次・二次評価者は注意してほしい。
g委員	3	3	3	評価制度が時代に対応しているものなのかどうか。そもそも検証してほしい。
h委員	3	3	3	被評価者自身が、自らの職務目標を設定し、その妥当性や自らの成長、組織目標を踏まえているかなどの視点を持てるようにしたこと、最終市長評価を実施し、最終評価を本人に開示することで、本人自身がキャリアアップに前向きになれると考える。市民に対する接遇の向上について課題が多くあるようだ。
i委員	3	3	2	職員の挨拶運動を積極的に取り組みをされたい。業務遂行に当たっては、ダブルチェックが必要だと思う。
J委員	3	3	4	自己評価や上司との面談など、職員のモチベーションに着目した評価制度として、コミュニケーションの活性化も期待できると考える。ただし、職員自身が「どう思われるか」などと考えながら、自己評価や面談に臨んでいるのでは、公平な評価はできないので、この制度自体に対しての職員の意識調査も必要ではないかと考える。
k委員	3	3	3	—
l委員	3	3	3	評価することでどの程度の職員の能力が向上し、サービスが向上し、モチベーションが上がったか、「結果の検証」でそれがされているのであれば、その結果を知りたい。
m委員	3	3	3	—
平均値	3	3	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.8 業務効率を高めるためのICTの活用

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	4	3	—
b委員	4	4	4	デジタル化はどんどん進むだろうから、職員研修も含めて頑張ってもらいたい。
c委員	4	4	4	—
d委員	4	4	4	今後、日本社会において多くの業務がAIに置き換わっていく中で、遅れることなく進めていってほしいと思う。
e委員	4	4	4	—
f委員	3	4	3	—
g委員	3	2	2	「BPRによる業務改革の効果把握の状況について」を参考にして取り組むべきである。
h委員	4	4	3	端末の整備が不可欠となる。今後、セキュリティの保護などが重要である。
i委員	3	3	2	スピーディに実施され行われたい。職員の事務にも影響がないように配慮願いたい。
J委員	4	4	4	取組項目としている「業務効率を高める」ため、今後の課題とされている点について、解決に向けた具体的な検討を進め、全庁的な総合調整を図っていただきたい。
k委員	4	4	4	—
l委員	4	4	4	—
m委員	4	4	3	—
平均値	4	4	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.9 電子決裁の推進

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	/	3	—
b委員	3	/	3	市税を納める方の個人情報等を守るだけでなく、市のパソコンに侵入されないような対策強化をお願いする。 サイバー攻撃に対する対策をしっかりとしてほしい。
c委員	3	/	3	—
d委員	3	/	3	法令等で決まっている（ルーチン）のものや予算どおり（支出・収入）のものは原則電子決裁でよいのではないかと。また、方針的なものは決裁前に関係部署が協議しておけば、その結果を決裁することだけなので電子決裁で多くは執行可能ではないかと。
e委員	3	/	5	—
f委員	3	/	3	—
g委員	3	/	3	6月1日に規制改革推進会議が政府に答申した行政手続のオンライン化を十分考慮して計画・目標を策定してほしい。
h委員	3	/	3	他市と比較してどのくらい進捗しているかの評価も重要である。成功事例を参考にして実効性のある取組を推進してほしい。
i委員	5	/	3	現在、紙ベースでの決裁が大量にある中、もっと早く電子決裁導入に向けて取り組みを実施されたい。
j委員	3	/	3	職員の意識調査は、電子決裁の具体的な課題調査を目的に実施し、職員自身が何が課題でどうすればできるかという意識啓発と改善につなげていただきたい。
k委員	3	/	3	—
l委員	2	/	4	必要なことであるので進めてもらいたい、意識の問題ではないと思う。技術力を要するのではないかと。
m委員	3	/	3	—
平均値	3	/	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.10 経常的経費を含む事務事業の検証

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	4	4	4	—
b委員	4	4	3	—
c委員	5	5	4	—
d委員	5	5	4	社会の変化が著しい中ではあるが、市民の福祉を守り、向上させることは普遍的である。そのためにも限られた財源を最大化する工夫が求められる。経費の節減、削減は健全財政を維持するため必要であるが、市民サービスの最適化の観点からも事務事業の見直し（スクラップ・アンド・ビルド）は重要である。
e委員	5	5	5	—
f委員	4	5	3	経常的経費の削減は、大幅な減額は難しいと思うが、歳出の事業費でもそうであるが、予算は満額実行するという観念は捨て去る方が良いと思う。その代わりに、想定外のどうしても必要な事業等には潤沢に投入するようにすれば節約の実行と予算使い切りの弊害も解消されると思う。
g委員	5	4	3	事業の見直しはどうしても安易になりやすいので目標値をこの委員会で設定すべきである。
h委員	5	5	4	経常的経費など事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底することで、財政調整基金の取り崩しを1億円控えることができたことは大きいと考える。今後もこうした努力を積み上げることが重要となる。
i委員	4	3	3	経費については、福祉、医療、子ども、教育、道路や河川、関連施設の維持管理などの経費は積極的に反映され市民の生活に影響がないようお願いしたい。また、予算編成については、担当部局の意見、これまでの経過を十分に配慮されたい。
J委員	4	4	4	—
k委員	5	5	3	—
l委員	5	5	4	スクラップとビルドについて、実施内容を公表していただけると妥当性について考えやすいと思う。
m委員	5	5	3	—
平均値	5	5	4	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.11 元金償還額を上回らない市債の発行

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	4	4	4	—
b委員	4	4	3	—
c委員	5	5	5	—
d委員	5	5	4	取組が健全に保たれていることは、市民の安心に繋がる。財政健全化指標は、市民に周知するには有効なものであると思うので、将来見通しをしっかりと予測する中で、市債管理（発行と償還）をしていただきたい。
e委員	5	5	5	—
f委員	4	5	3	経常的経費の削減は、大幅な減額は難しいと思うが、歳出の事業費でもそうであるが、予算は満額実行するという観念は捨て去る方が良いと思う。その代わりに、想定外のどうしても必要な事業等には潤沢に投入するようにすれば節約の実行と予算使い切りの弊害も解消されると思う。
g委員	3	3	2	「元金償還額を上回らない発行額」の設定で十分とは言い難い。
h委員	5	5	4	元金償還額を上回らない市債の発行は不可欠である。
i委員	4	3	3	これまで、市債を発行した状況も分かりやすく示してほしい。
j委員	4	4	4	—
k委員	5	5	3	—
l委員	5	5	4	—
m委員	4	4	2	次世代へ負担を増やさないように留意すべき。
平均値	4	4	4	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.12 公共施設マネジメントの推進

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3	3	3	削減のみが目標なのか、有効活用が目標なのかよく分からない点があった。
b委員	3	3	3	—
c委員	4	4	3	施設の適正化の効果については、延床面積のみではなく、ストック・フローの両面から財政的な数値でも表現すると良いのではないかと。
d委員	4	4	3	市の人口減少が予測されている中で、建設、設置された時代とその目的、役目に変化しているものは、一定の基準を設けて廃止・統合を基本に議論すべき。市民の中には、不明確、不明瞭が不満や不信感に繋がり反対されることもあるのでは。
e委員	4	4	4	自治体の固定資産管理の考え方として、減価償却は難しいかもしれないが、可能な範囲で償却の累計額を算出すると長期のスパンで財政状況を把握することができると思う。上下水道事業がそういう会計処理をしているので、参考にされてはどうか。
f委員	3	4	3	建築施設の延床面積削減率は、高ければ良いというものでもない。一律に削減率を設定するのはどうか。
g委員	3	3	2	最適化の基準をどのように考えるのか、明確にすべきである。
h委員	4	4	4	市民にとって、公共施設の利用についてどのようなニーズがあるのか、将来的にどのような理想のまちづくりを推進していくのか、というビジョンを描くことが重要であると考えられる。 例えば、図書館の利用については、人口規模のわりに手狭であり、特に自習スペースを広げ、市民目線に立った施設整備が必要と考える。
i委員	4	3	3	個別施設計画を策定した施設一覧をホームページで公開してほしい。今後、個別施設計画が策定された場合、当委員会にも一覧などで報告してほしい。
j委員	4	4	4	個別計画では、営繕計画、統廃合、廃止など即座に決定しづらいことがあるが、市の公共施設を全体調整する中で取り組まれたたい。
k委員	3	3	3	—
l委員	4	4	3	—
m委員	3	3	3	市民が広報紙等で情報を十分に得ているか分からない。
平均値	4	4	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

行政改革推進委員会評価結果（令和2年度行財政改革実施計画）

■No.13 受益者負担の適正化

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
a委員	3		3	—
b委員	4		3	受益者負担で電気代等が発生していても、施設の清掃などの取組も負担すべきだと感じた。
c委員	3		3	—
d委員	5		4	公共施設を特定の者や目的外に使用させる場合は、公平・公正が基本であることから、受益者負担は当然であるが、その負担額、使用料等については府下の都市を調査されており適正であると考えます。ただし、その業務コスト等（事務費、人件費）は、必要最小限となるように工夫していただきたい。
e委員	3		3	市財政が厳しいことを考えると、使用料・手数料の値上げを検討した方が良いと思う。
f委員	3		3	値上げありきの話ではないが、安すぎる必要はないと思う。（現状は安い。）
g委員	3		3	手数料・使用料の比較は人口同程度の関西の市と比較すべきである。
h委員	4		4	—
i委員	5		3	学校施設使用料の申請書の施設記入欄について、変更されホームページで確認できたが項目をもう少し改善できないのか、検討をお願いしたい。他市の事例も掲載されていたが、同じ条件の市があれば参考にされたい。
J委員	4		3	「①使用料・手数料の検証」については実施状況が示されなかったため評価不可だが、「実施項目と計画」については、それぞれの実施の計画期間が長い。 ②について、「受益と負担の適正化」の取り組みであるが、他市比較で差がないことだけでよかったのか。
k委員	3		3	—
l委員	5		3	—
m委員	5		5	—
平均値	4		3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」